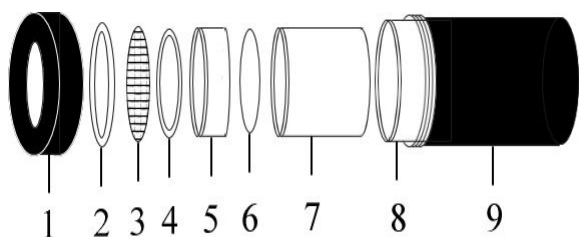


長期型サンプラー組み立て方法(拡散管を使用する場合)

SO₂の測定の場合は、捕集量を上げるために拡散管を使用する場合があります。拡散管は5mmと10mmがあります。5mm拡散管は、5mmと45mmで一組です。10mmの場合は、10mmと40mmの組み合わせです。サンプラーの構造及び分解図は下に示すとおりです。

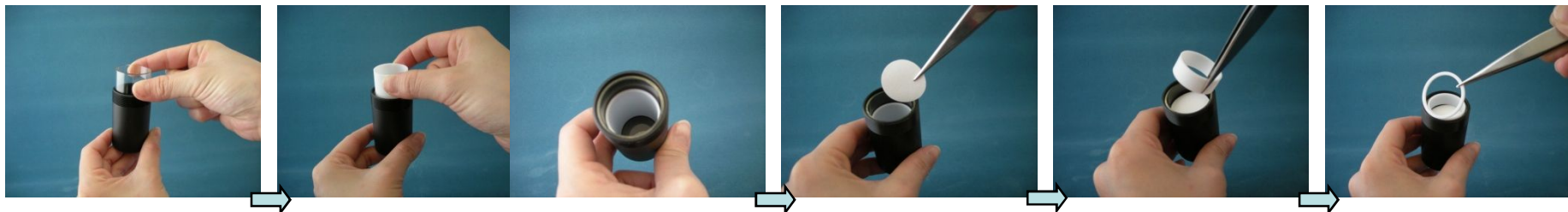


1. ジュラコン固定用ネジ蓋(内径35mm, 直径40mm, 長さ12mm)
2. テフロンパッキン(内径26mm, 直径34mm)
3. 金網付きキャップ
4. テフロンパッキン(内径26mm, 直径30mm)
5. SO₂測定用テフロン拡散管(5mm又は10mm)(短)<別売り>
6. 捕集用ろ紙(26mmφ)<別売り>
7. SO₂測定用テフロン拡散管(45mm又は40mm)(長)<別売り>
8. ガラス容器(内径27mm, 直径30mm, 長さ50mm)
9. ジュラコン遮光容器(内径30mm, 直径33mm, 長さ55mm)



サンプラーの組み立て方法は下に示すとおりです。

なお、各部品は蒸留水又は純水で洗浄しておいて下さい。



ジュラコン容器に
ガラス容器を入れます

ガラス容器の中に
拡散管(長)を入れます

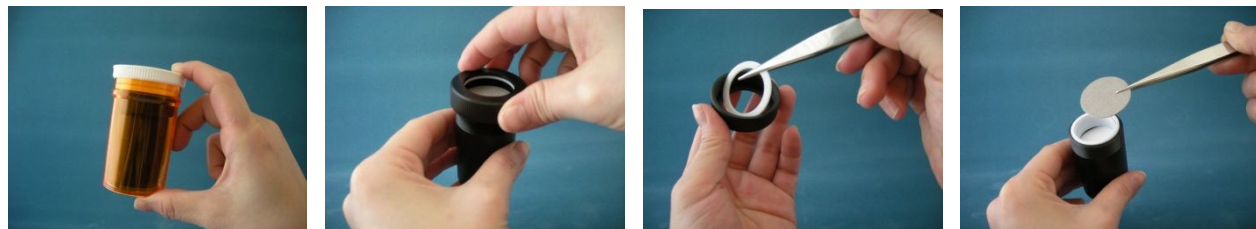
捕集用ろ紙を拡散
管の上にのせます

拡散管(短)をろ紙
の上にのせます

テフロンパッキン
(小)をガラス容器
の上にのせます

注意事項:

- 1) 各部品, 特にはろ紙は素手で扱わないようにしましょう。
- 2) ろ紙を装填してからはできるだけ外気にさらさないように手早く作業しましょう。



オレンジケースに
サンプラーを入れ
しっかり栓をします

蓋を閉めます

ジュラコンネジ蓋に
テフロンパッキン
(大)をはめます

金網付きキャップを
のせます(目の細かい
方が上です)